

平成29年3月期 第3四半期連結決算概要

平成29年1月30日
住友化学株式会社

(単位：億円)

1. 業績

	平成28年3月期 第3四半期	平成29年3月期 第3四半期	増減
売上高	15,778	13,898	△1,880
営業利益	1,195	863	△333
経常利益	1,437	1,150	△287
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	846	553	△293
1株当たり四半期(当期)純利益	51円74銭	33円84銭	△17円90銭
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	10.4%	7.1%	△3.3%
平均為替レート(円/＄)	121.74	106.60	—
ナフサ価格(円/KL)	45,600	32,300	—

平成29年3月期 (10月予想)	平成28年3月期
19,600	21,018
1,200	1,644
1,300	1,712
600	815
36円71銭	49円84銭
7.9%	10.5%
105.10	120.15
32,700	42,800

2. 部門別売上高・営業利益

(単位：億円)

		平成28年3月期 第3四半期	平成29年3月期 第3四半期	増減
石油化学	売上高	5,184	4,140	△1,044
	営業利益	258	175	△83
エネルギー・ 機能材料	売上高	1,571	1,460	△111
	営業利益	35	51	16
情報電子 化学	売上高	3,047	2,698	△349
	営業利益	209	89	△120
健康・農業 関連事業	売上高	2,284	1,919	△364
	営業利益	409	166	△243
医薬品	売上高	3,285	3,297	12
	営業利益	350	461	111
その他	売上高	407	383	△24
	営業利益	61	37	△24
全社費用等	売上高	—	—	—
	営業利益	△127	△117	10
合計	売上高	15,778	13,898	△1,880
	営業利益	1,195	863	△333

平成29年3月期 (10月予想)	平成28年3月期
5,600	6,571
170	288
2,100	2,090
30	28
3,550	3,845
60	199
3,400	3,590
570	775
4,350	4,355
480	427
600	566
50	78
—	—
△160	△150
19,600	21,018
1,200	1,644

平成28年10月28日に公表した通期業績予想からの変更はありません。

(※) 第1四半期連結会計期間からセグメントの変更を行っており、前年同四半期および前期実績値についても、比較のため組替を行っております。
セグメント変更の詳細については、添付資料10ページをご参照ください。

3. 要約連結損益計算書

(単位：億円)

	平成28年3月期 第3四半期	平成29年3月期 第3四半期	増 減
売 上 高	15,778	13,898	△1,880
営 業 利 益	1,195	863	△333
持 分 法 投 資 損 益	295	258	△37
為 替 差 損 益	△11	65	76
そ の 他	△43	△36	7
経 常 利 益	1,437	1,150	△287
事 業 構 造 改 善 費 用	△22	△128	△105
投 資 有 価 証 券 売 却 益	61	48	△13
そ の 他	-	△1	△1
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	1,475	1,070	△405
法 人 税 等	△366	△248	118
四 半 期 純 利 益	1,109	821	△288
非支配株主に帰属する四半期純利益	△263	△268	△5
親会社株主に帰属する四半期純利益	846	553	△293

4. 要約連結貸借対照表

(単位：億円)

	平成28年3月期末 現在	平成29年3月期 第3四半期末 現在	増 減		平成28年3月期末 現在	平成29年3月期 第3四半期末 現在	増 減
(資産の部)				(負債の部)			
流 動 資 産	11,879	12,305	426	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	2,052	2,201	149
現 金 及 び 預 金	1,366	1,780	414	有 利 子 負 債	8,315	9,512	1,197
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	4,148	3,989	△159	そ の 他	5,347	5,232	△114
た な 卸 資 産	4,023	4,287	265	負 債 合 計	15,714	16,946	1,232
そ の 他	2,343	2,248	△95	(純資産の部)			
固 定 資 産	14,742	16,073	1,331	株 主 資 本	6,437	6,772	335
有 形 固 定 資 産	6,422	6,621	200	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	1,232	1,137	△94
無 形 固 定 資 産	1,873	2,861	989	非 支 配 株 主 持 分	3,239	3,522	283
投 資 そ の 他 の 資 産	6,448	6,590	142	純 資 産 合 計	10,908	11,431	524
資 産 合 計	26,622	28,378	1,756	負 債 ・ 純 資 産 合 計	26,622	28,378	1,756

5. 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	平成28年3月期 第3四半期	平成29年3月期 第3四半期	増減	平成28年3月期
営業キャッシュ・フロー	1,692	853	△839	2,612
投資キャッシュ・フロー	△343	△1,684	△1,340	△537
差引(フリー・キャッシュ・フロー)	1,349	△830	△2,179	2,075
財務キャッシュ・フロー	△474	803	1,277	△1,780
その他の	△37	△13	25	△143
現金及び現金同等物の増減	837	△40	△877	153



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 住友化学株式会社

コード番号 4005 URL <http://www.sumitomo-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 十倉 雅和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 佐々木 啓吾

TEL 03-5543-5160

四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	1,389,802	△11.9	86,279	△27.8	115,001	△20.0	55,310	△34.6
28年3月期第3四半期	1,577,760	△8.4	119,537	67.5	143,664	45.6	84,565	79.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 76,727百万円 (△15.0%) 28年3月期第3四半期 90,290百万円 (△46.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	33.84	33.81
28年3月期第3四半期	51.74	51.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	2,837,763	1,143,149	27.9
28年3月期	2,662,150	1,090,776	28.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 790,948百万円 28年3月期 766,874百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	8.00	—	6.00	14.00
29年3月期	—	7.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 6円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,960,000	△6.7	120,000	△27.0	130,000	△24.1	60,000	△26.3	36.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

<p>新規 4社 (社名)</p> <p>Cynapsus Therapeutics Inc. Project Pegasus Sub Acquisition ULC Sunovion CNS Development Canada ULC (旧社) Sunovion CNS Development Canada ULC</p>	、 除外 3社 (社名)	<p>Cynapsus Therapeutics Inc. Project Pegasus Sub Acquisition ULC Sunovion CNS Development Canada ULC (旧社)</p>
--	--------------	--

(注)詳細は、【添付資料】P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	1,655,446,177 株	28年3月期	1,655,446,177 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	21,253,591 株	28年3月期	21,206,065 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	1,634,216,861 株	28年3月期3Q	1,634,311,114 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等に重大な影響を与える主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(セグメント情報等).....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べ1,880億円減少し、1兆3,898億円となりました。損益面では、営業利益は863億円、経常利益は1,150億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は553億円となり、それぞれ前年同四半期を下回りました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の業績の概況は次のとおりです。

(石油化学)

石油化学品や合成樹脂は原料価格の下落により、市況が下落しました。また、千葉工場の石油化学事業再構築の影響により、石油化学品の出荷も減少しました。更に円高による在外子会社の邦貨換算差の影響もありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ、1,044億円減少し4,140億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ83億円減少し175億円となりました。

(エネルギー・機能材料)

アルミニウムは円高等の影響により販売価格が下落しました。一方、レゾルシン（接着剤用原料）やエンジニアリングプラスチックは需要の増加により、出荷が増加しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ、111億円減少し1,460億円となりましたが、営業利益は前年同四半期に比べ16億円増加し51億円となりました。

(情報電子化学)

偏光フィルムは販売価格が下落しました。タッチセンサーパネルも、販売価格は下落しましたが、需要の増加により出荷は増加しました。また、円高による在外子会社の邦貨換算差の影響もありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ、349億円減少し2,698億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ120億円減少し89億円となりました。

(健康・農業関連事業)

メチオニン（飼料添加物）は市況の下落により、減収となりました。農薬は海外での出荷が減少しました。更に円高による影響もあり、この結果、売上高は前年同四半期に比べ、364億円減少し1,919億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ243億円減少し166億円となりました。

(医薬品)

国内では、アイミクス（高血圧症治療剤）やトレリーフ（パーキンソン病治療剤）等の販売が拡大しましたが、薬価改定や長期収載品の出荷減少の影響が大きく、減収となりました。北米では、ラツータ（非定型抗精神病薬）を中心に堅調に販売が拡大しました。一方、円高による在外子会社の邦貨換算差の影響がありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ、12億円増加し3,297億円となりました。北米での販売拡大により営業利益は前年同四半期に比べ111億円増加し461億円となりました。

(その他)

上記5部門以外に、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析等を行っております。これらの売上高は前年同四半期に比べ、24億円減少し383億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ24億円減少し37億円となりました。

※第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分方法を変更しており、当四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

なお、持分法投資利益は前年同四半期に比べ、37億円減少し、258億円となりました。

ペトロケミカル コーポレーション オブ シンガポール（プライベート） リミテッドは好調な業績が続きましたが、ラービグ リファイニング アンド ペトロケミカル カンパニーは石油化学製品の販売価格の下落による交易条件の悪化に加え、エタンクラッカー一時停止の影響による出荷の減少等により、業績が悪化しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ1,756億円増加し2兆8,378億円となりました。子会社の大日本住友製薬株式会社によるCynapsus Therapeutics Inc. (現: Sunovion CNS Development Canada ULC) の買収により、無形固定資産が増加したことが主な要因です。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,232億円増加し1兆6,946億円となりました。有利子負債(短期借入金、1年内償還予定の社債、コマーシャル・ペーパー、社債および長期借入金の合計でリース債務を除く)が前連結会計年度末に比べ1,197億円増加し、9,512億円となったことが主な要因です。

純資産(非支配株主持分を含む)は、その他の包括利益累計額が減少したものの、利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ524億円増加し1兆1,431億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.9ポイント低下し、27.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月28日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である大日本住友製薬株式会社の連結子会社であるSunovion Pharmaceuticals Inc. (以下、「サノビオン社」)が、カナダのCynapsus Therapeutics Inc. (以下、「シナプサス社」)をカナダ法上のプラン・オブ・アレンジメントの手法による手続きを通じて買収しました。

当該買収プロセスにおいて、シナプサス社の株式およびワラントのすべてを取得させる目的で、サノビオン社が100%子会社であるSunovion CNS Development Canada ULC (旧社) (以下、「サノビオンCNSカナダ社(旧社)」)をカナダにおいて設立したため、同社は当社の連結子会社となりました。

また、当該買収が完了したことにより、被買収会社であるシナプサス社と同社の100%子会社であるProject Pegasus Sub Acquisition ULC (以下、「ペガサス社」)が当社の連結子会社となりました。

さらに、買収完了日においてサノビオンCNSカナダ社(旧社)、シナプサス社およびペガサス社の3社はカナダのブリティッシュ・コロンビア州法上の組織再編であるAmalgamation(組織統合)により統合し、Sunovion CNS Development Canada ULC (以下、「サノビオンCNSカナダ社」)が新たに設立されました。この組織再編により、サノビオンCNSカナダ社が当社の連結子会社になるとともに、サノビオンCNSカナダ社(旧社)、シナプサス社およびペガサス社の3社は、当社の連結子会社に該当しないこととなりました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・ 税金費用の計算

一部の連結子会社では、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産及び繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産及び繰延税金負債の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金及びその他の包括利益累計額に加減しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	136,554	177,959
受取手形及び売掛金	414,809	398,949
有価証券	81,041	35,549
商品及び製品	283,037	298,683
仕掛品	13,229	19,780
原材料及び貯蔵品	105,989	110,269
その他	154,889	191,147
貸倒引当金	△1,619	△1,850
流動資産合計	1,187,929	1,230,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	244,553	242,775
機械装置及び運搬具(純額)	249,332	260,855
その他(純額)	148,281	158,512
有形固定資産合計	642,166	662,142
無形固定資産		
のれん	82,647	92,313
その他	104,615	193,814
無形固定資産合計	187,262	286,127
投資その他の資産		
投資有価証券	469,319	460,319
退職給付に係る資産	53,800	53,391
その他	122,535	146,247
貸倒引当金	△861	△949
投資その他の資産合計	644,793	659,008
固定資産合計	1,474,221	1,607,277
資産合計	2,662,150	2,837,763

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	205,188	220,136
短期借入金	148,235	268,301
1年内償還予定の社債	55,000	70,000
コマーシャル・ペーパー	24,000	21,000
未払法人税等	42,220	19,107
売上割戻引当金	49,224	59,307
その他の引当金	50,853	36,270
その他	214,710	234,973
流動負債合計	789,430	929,094
固定負債		
社債	247,000	232,000
長期借入金	357,270	359,931
引当金	22,218	22,826
退職給付に係る負債	35,824	34,958
その他	119,632	115,805
固定負債合計	781,944	765,520
負債合計	1,571,374	1,694,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	89,699	89,699
資本剰余金	23,475	22,769
利益剰余金	539,490	573,735
自己株式	△8,953	△8,976
株主資本合計	643,711	677,227
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84,901	92,993
繰延ヘッジ損益	△702	336
土地再評価差額金	4,472	4,472
為替換算調整勘定	34,772	18,822
退職給付に係る調整累計額	△280	△2,902
その他の包括利益累計額合計	123,163	113,721
非支配株主持分	323,902	352,201
純資産合計	1,090,776	1,143,149
負債純資産合計	2,662,150	2,837,763

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
売上高	1,577,760	1,389,802
売上原価	1,064,130	915,280
売上総利益	513,630	474,522
販売費及び一般管理費	394,093	388,243
営業利益	119,537	86,279
営業外収益		
受取利息	2,290	2,216
受取配当金	4,133	5,095
持分法による投資利益	29,493	25,843
為替差益	—	6,482
雑収入	5,679	5,208
営業外収益合計	41,595	44,844
営業外費用		
支払利息	9,154	7,800
コマーシャル・ペーパー利息	60	—
為替差損	1,079	—
雑損失	7,175	8,322
営業外費用合計	17,468	16,122
経常利益	143,664	115,001
特別利益		
投資有価証券売却益	6,071	4,814
段階取得に係る差益	—	565
特別利益合計	6,071	5,379
特別損失		
事業構造改善費用	2,245	12,779
減損損失	—	648
特別損失合計	2,245	13,427
税金等調整前四半期純利益	147,490	106,953
法人税等	36,598	24,836
四半期純利益	110,892	82,117
非支配株主に帰属する四半期純利益	26,327	26,807
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,565	55,310

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	110,892	82,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,699	3,102
繰延ヘッジ損益	72	787
為替換算調整勘定	△13,475	10,457
退職給付に係る調整額	△8,284	△1,449
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,614	△18,287
その他の包括利益合計	△20,602	△5,390
四半期包括利益	90,290	76,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,845	45,964
非支配株主に係る四半期包括利益	27,445	30,763

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はない。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はない。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	石油化学	エネルギー・ 機能材料	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	518,408	157,117	304,709	228,351	328,499	1,537,084	40,676	—	1,577,760
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	8,112	6,785	691	3,446	6	19,040	36,008	△55,048	—
計	526,520	163,902	305,400	231,797	328,505	1,556,124	76,684	△55,048	1,577,760
セグメント利益	25,777	3,522	20,878	40,874	35,023	126,074	6,115	△12,652	119,537

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額△12,652百万円には、セグメント間取引消去421百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△13,073百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はない。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	石油化学	エネルギー・ 機能材料	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	414,048	145,989	269,809	191,916	329,728	1,351,490	38,312	—	1,389,802
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,493	4,046	851	2,970	8	14,368	35,913	△50,281	—
計	420,541	150,035	270,660	194,886	329,736	1,365,858	74,225	△50,281	1,389,802
セグメント利益	17,502	5,148	8,919	16,564	46,089	94,222	3,719	△11,662	86,279

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額△11,662百万円には、セグメント間取引消去△357百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△11,305百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はない。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、セグメントの区分方法を以下のように変更している。

- ・「情報電子化学」に含まれていた電池部材およびエンジニアリングプラスチックを「エネルギー・機能材料」に移管した。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載している。